鉄学しましょ

1954年に公開された「ゴジラ」を映画館で見た観客は、その恐ろしさに震え上がったことだろう。怪獣というものを目の当たりにしたのは、この時が初めてだったのだから。

最初、品川に上陸したゴジラは、ＥＦ58形電気機関車がけん引する列車を蹴散らし、八ツ山橋を破壊する。実はこの時に引きちぎられたのは、当時はアーチ橋だった第１京浜国道の跨線橋ではなく、鉄骨組みのトラス橋だ。並行

ゴジラと京急

して架かっている、京浜急行電鉄の橋の方である＝写真。

ゴジラが２回目に上陸した時は、銀座和光の時計台や国会議事堂、勝鬨橋など、東京の有名建造物を次々と壊して回った。後の怪獣映画、特撮テレビ番組では、その都市のシンボル的な建物が怪獣の餌食になるシーンが定番になったが、その「第１号」は、京急が東海道線をまたぎ越している鉄道橋だったのだ。

2016年公開の「シン・ゴジラ」でも、京急は北品川で800形電車が投げ飛ばされて破壊されるという被害を受ける。フィクションとはいえ、東京湾に近いところを走る鉄道の宿命ということかもしれない。

土屋武之さん

つちや・たけゆき　1965年生まれ。ぴあ関西版編集部を経て、鉄道ライターに。専門誌「鉄道ジャーナル」などに執筆中。

次は　村井美樹さん

「鉄学しましょ」は東京新聞ホームページにも掲載。ツイッター「東京新聞鉄道クラブ」では本紙記者が鉄道の話題をつぶやいています。

日々チョウカンヌ

1749年の今日はドイツの詩人ゲーテさんのお誕生日。小説「若きウェルテルの悩み」や戯曲「ファウスト」など、世界中で読み継がれる作品を残したの。

Instagram@choukanne

金属の折り紙

透明感、光の反射…

折り紙は繊細な日本文化の粋として海外でも評価が高い。その材料を金網に置き換えた「おりあみ／ORIAMI」が、評判を呼んでいる。金属の剛性と布のようなしなやかさを併せ持ち、作品を半永久的に保存できる。開発したのは荒川区の老舗メーカー、石川金網。下町発のものづくり技術で、世界の市場を狙う。

石川金網の石川幸男社長

まずは、と作品を見せていただいて不思議な感覚に驚いた。鶴や馬、バラなどが細かな技術で折られているのだが、紙の作品とは印象が違う。茶色、灰色、ベージュなどの淡い色合いに、金網独特の透明感があり、光の反射が美しい。

石川金網の石川幸男社長（58）は「丹銅（銅と亜鉛の合金）、ステンレス、銅などの金属が持つ本来の色を生かしたいと考えました。それらの色を金、銀、銅の３色と呼んでいます。金属の良さ、面白さを知っていただきたい気持ちもあるのです」と話す。

同社は、石川社長の祖父が1922年に創業した金網製作の草分けといえる企業で、業界でも技術力には定評がある。その老舗がアートの世界に打って出たのが「おりあみ／ORIAMI」だ。

石川社長によると、金網の業界は、いわゆるニッチ産業（小規模ながら特定の客層を持つ産業）として、比較的堅実で安定した業績を残してきた。それでも2008年のリーマン・ショック後は、自動車部品の下請けなどが激減。「下請けだけではいけない。売り込みに行って買ってもらう自社製品がなくてはならない。そう痛感し、社員からアイデアを募って出てきたのが、これでした」

極細の金網でできたシートは紙と同じように指で簡単に折れる

透明感のあるチョウ

極細の金属を布のように織り上げてシートにした。折り方は紙と変わらない。ペンチなどの道具は不要で、指で折ることができる。安全処理をしてあるため、けがなどの危険はないという。

２年前に売り出すと、予想を超える反響があった。文房具店やクラフトショップ、ミュージアムショップなどから問い合わせが相次いだ。米国やイタリアの展示会でも注文が入った。海外ではアクセサリーやインテリアの素材として興味を持つ人が多いという。従来とは全く違う顧客の開拓に成功した。

「おりあみ」で作られたテーブルライト（上）とツル（下）

「ORIAMI」

下町の技術 世界へ

十二支の動物たち

普及のため、同社は「おりあみアートクラブ」を設立し、プロの折り紙作家の作品や制作キット、テキストを販売している。インストラクターの養成講座も開催し、すでに全国に50人以上のインストラクターが誕生。要望があれば、ワークショップの出前もする。

荒川区は、墨田区などと並び中小のものづくり企業が集積する地域だ。区では地域ブランド「スタイルＡ」の立ち上げなどを検討しており、まずは、金属の折り鶴が世界に羽ばたいて行きそうだ。

価格は金、銀、銅３色のシート（15㌢四方）３枚入りが1500円（税別）など。問い合わせは、石川金網＝電03（3807）9761＝へ。

文・坂本充孝／写真・潟沼義樹／紙面構成・加藤大介

fax 03-3595-6920　email t-hatsu@tokyo-np.co.jp